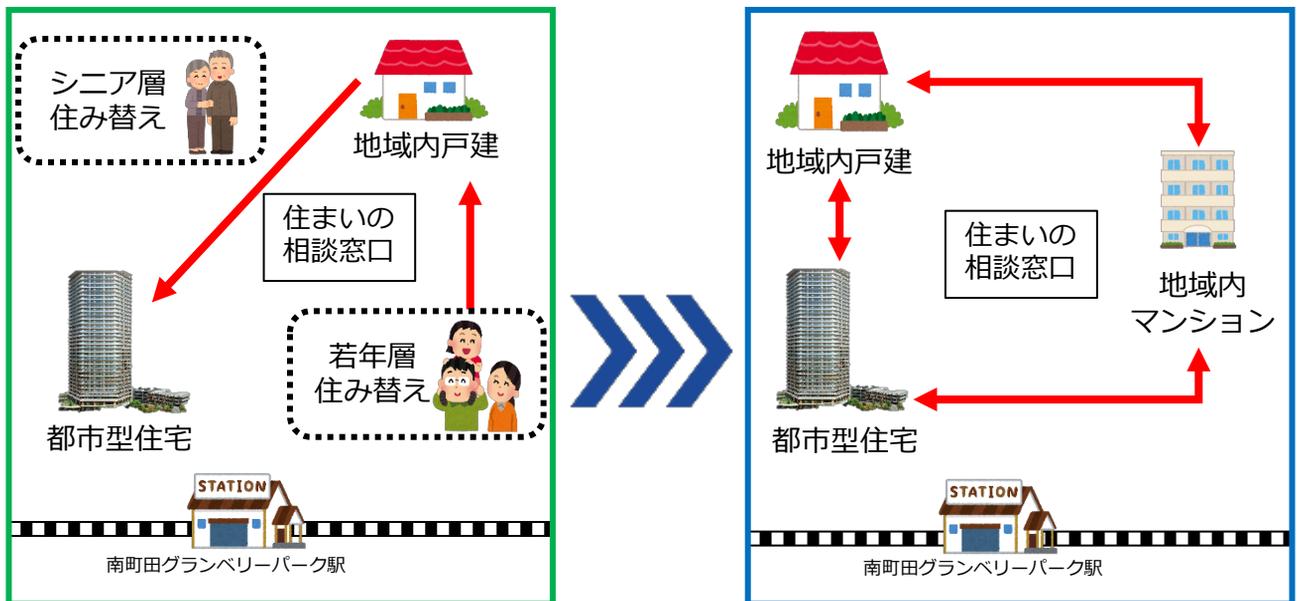


住み替えサイクルの概要

「地域の住み替えサイクル」とは、つくし野から南町田など、生活圏に変化の生じない地域内での近距離移住を想定し、既成の住宅地内で固定化した人口の流動を生み出すことで、若年ファミリー層など新たな居住層を呼び込みながら、まちの活力を維持しようとする仕組みです。

本拠点整備において、地域の住み替えサイクルを誘発する取組として、駅至近の位置に、地域全体で、ライフスタイルやライフステージの変化に対応して柔軟に住み替えられる都市型住宅を配置します。

また、地域の安全安心・快適な暮らしを支える、生活利便機能、交流機能、公共公益機能などの充実を図ります。



住み替えサイクルのイメージ

「地域の住み替えサイクル」の構築に向けた具体的な取り組みとして、グランベリーパーク内に、東急が沿線で展開する住まいの相談窓口である「住まいと暮らしのコンシェルジュ」を設置し、住み替えにおける課題の1つである「現居の住まい手確保」に対し、現居売却支援を提供することで、新しい住まい手の流入を目指し、地域全体の住み替えサイクルを促進します。

また、住み替え後の既成住宅地において空き家化が進行しないよう、住宅事業者や地域住民のまちづくりの取組と協調しながら、新たな層の入居を促すための取り組み方法を検討します。